

世界の印刷四大展示会の参加と

災害支援活動及びローカル展など

(国際印刷大学校)

(2000年～2019年)

2019年5月21日現在

回数	名称	場所	期日	主たる内容
1	drupa2000	Dusseldorf	May-00	国際印刷大学校準備；人類史上最も偉大な発明～出版印刷文化へのチャレンジ～下記写真 設立；2000年6月16日
	Gutenberg 600	Maintz	May-00	Gutenberg Museum, Maintz大学論文査読、Gutenberg 生誕600年記念関連行事参加
2	Print01	Chicago	Sep-01	世界の印刷事情（日刊工業新聞、01-9-16号で発表）
3	IPEX02	Birmingham	Apr-02	IPEX2002と世界の印刷事情（日本印刷学会中部支部、9-16に報告）
4	野間賞受賞講演	名古屋	Feb-03	日本印刷学会中部支部で講演、野間賞記念論文集「グラフィックアーツ研究」（別巻2刊行）
5	IGAS2003	Tokyo	Sep-03	世界印刷技術会議（TBS）、印刷文化典（ホテルニューオータニ）
6	drupa2004	Dusseldorf	May-04	印刷メディア系14大学（欧州）カリキュラム会議、HP交流会（会場）
7	Print05	Chicago	Sep-05	Print05とアメリカの印刷産業発表（韓国の斗山重工業及び東京工芸大学）
8	IPEX06	Birmingham	Apr-06	INNOV8(TBS)、セントブライド印刷博物館（ロンドン）、ケンブリッジ大学
9	IGAS2007	Tokyo	Sep-07	国際印刷会議（会場）、印刷文化典（ホテルニューオータニ）
10	drupa2008	Dusseldorf	May-08	フッパターナル大学との交流、MDCMeeting（会場）
11	日露学術文化交流	Tokyo	May-09	モスクワ印刷大学での印刷文化交流、Polygraph展（Moscow）
12	IPEX10	Birmingham	May-10	コベントリ大学、マンチェスター科学産業博物館、ビートルズ記念館（リバプール）
13	東日本大震災支援	東北3県	Mar-11	支援活動のため日韓共同印刷支援センターの設立（東京）、そこを拠点として活動
14	同上支援論文	Tokyo	Sep-11	印刷情報誌に2011年9月号から2012年12月号まで20回にわたり、支援活動連載発表
15	IGAS2011	Tokyo	Sep-11	日韓印刷文化シンポジウム主催、全印工連フォーラム（TBS）
16	drupa2012	Dusseldorf	May-12	欧州各国の印刷メディア系14大学カリキュラム会議、ストラダエンン技術交流会（会場）
17	JGAS2013	Tokyo	Oct-13	環境問題のセミナー（胆管ガン対応、印刷・製版工場からの溶媒の完全除去）
18	K-Print	Seoul	Aug-14	環境問題討論会、Dong-Yang Ink・大洋パッケージとの討論会（韓国安山市）
19	IGAS2015	Tokyo	Sep-15	drupa2016の打ち合わせ、ハイデルフォーラム全国大会「毎年参加」（品川PH）
20	熊本地震支援	熊本・大分各県	Apr-16	熊本県、大分県の印刷・製版企業支援活動、熊本日日新聞社（熊本市）を中心として
21	光文堂機材展	名古屋	Jan-17	国際印刷情報メディア学会設立（事務局；名古屋市工業研究所）
22	国際文具紙製品展	Tokyo	Jul-17	デザイン・東京展（TBS）
23	Connect Jap 17	Tokyo	Oct-17	IoT World Conference2017（TBS）
24	page2018	Tokyo	Feb-18	印刷メディア産業の動向のセミナー；IoT技術の社会実装（北九州大学）
25	千葉大学	名古屋	Jul-18	千葉大学画像工学同窓会中部支部設立総会でのセミナー（DICビル）
26	本木昌造顕彰会	長崎	Sep-18	毎年9月3日同顕彰会（大光寺）に参加し、世界の印刷博物館の20年間（1995～2015）の調査結果を発表
27	page2019	Tokyo	Feb-19	今後の印刷メディア産業の動向のセミナー（page2002から毎年セミナーを開催）
28	Pマーク審査会	Tokyo	May-19	日本グラフィックサービス工業会でのPマーク審査（2007年から年7回参加）
29	九州印刷情報産業展	福岡	Jun-19	九州サイン&デザインディスプレイショウ共催、毎年参加し交流している。（福岡国際センター）
30	drupa2020	Tokyo	Jul-19	drupa2020（2020年6月16日から）への対応と国際印刷大学校創立20周年記念

注；国際印刷大学校研究報告創刊号から第19巻までを参照

(追記)

ヨーロッパ各国の印刷・関連の大学は1964年にドイツに留学して、学術交流の対応を行ってきた。

表に示した世界の四大印刷展示会のdrupa,IPEX各展示会やバリーで行われていたTPGでも印刷教育関連のMeetingが行われていて、積極的に参加し、印刷メディアの学術交流を深めてきた。

一方、アメリカには1980年のPrint展のGATFで「日本でのスキャナー利用のアンケート調査」を発表し、その後、イリノイ大学や印刷メディア系の大学を訪問し、学術・文化交流の基本をまとめた。詳細は題目；Print80と米国大学視察；印刷新報1980年5月8日号参照。

中国、韓国、台湾、香港でも同様の対応し、韓国では釜慶大学校（1980年から）、台湾では中国文化大学（1981年から）、香港中文大学、北京印刷学院など教材とカリキュラム研究は相互の理解のため必修であった。

ここにまとめた表は2000年6月16日に国際印刷大学校が設立され、現在までの20年間の記録です。

参考文献

- (1) 木下堯博；新しい印刷メディア系専門職業大学の創設へ～論文と資料集～（2015年5月31日）
- (2) 木下堯博；印刷産業に於ける個人情報保護の重要性、国際印刷大学校研究報告第16巻（2016年3月）
- (3) 木下堯博；ジョブカードの印刷界への導入、国際印刷大学校研究報告第11巻（2011年3月）
- (4) 木下堯博；世界の印刷博物館の調査研究、印刷ジャーナル（2015年10月25日号）

追記）2019年5月21日に行われたジャグラー主催の

個人情報保護委員会及びプライバシーマーク審査会（ニッケイビル）と

国際印刷大学校在京客員教授会（品川プリンスホテル）でそれぞれ報告した資料である。

上記参考文献配布



2000年3月15日最終講義（九州産業大学正面玄関前）